

記者発表様式

所属（都市再生課）担当者（濱村、馬場園）内線（290）

タイトル
42年間の感謝を込めて 「西鉄バスさん、ありがとう！ さようならイベント」の開催
概要（発表内容を簡単に記入してください）
1979年から42年にわたり、宗像市日の里で住民の足となってきた西鉄バスが3月末で運行を終え、オンデマンドバス「のるーと」に後を託します。日の里団地開発から間もない時期に、地域の根強い要望で運行を開始した西鉄バス。 これまでの感謝を伝え、団地の歴史を記す目的で住民有志が企画した「西鉄バスさん、ありがとう！ さようならイベント」を開催します。
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能）
■日時 3月31日（水）15時40分～16時00分 ■場所 JR東郷駅日の里口 CoCokara ひのさと前 ■出席者 ひのさと記憶プロジェクト・メンバー（日の里住民） 西鉄バス宗像株式会社 代表取締役社長 高畠 巧 氏（予定） ■司会進行 日の里学園日の里中学校 放送部 ■内容 ①花束贈呈 1979年9月1日のバス開通式で運転手に花束を手渡した高原亜矢子さん（当時・日の里の幼稚園児、現在は東京在住）がプレゼンターとして登壇 ②記念撮影 運行を終える「西鉄バス」から新たに運行を開始した「オンデマンドバス のるーと」へバトンタッチする記念撮影
≪開催の経緯≫ 日の里団地は今年、「まちびらき」から50年を迎えるに当たり、日の里地区コミュニティ運営協議会を中心に多彩なイベントを住民が発案、企画しています。 住民の50年分の思い出を聞き取り、記念誌編集などに取り組むグループ「ひのさと記憶プロジェクト」のメンバーから、「西鉄バスが日の里を走っていた記憶も、きちんと書き残そう」とイベントを提案。当時の通勤・通学者は東郷駅に徒歩か自転車で通うしかなく、住民の4年にわたる粘り強い嘆願により路線バスが開通したとのこと。 是非、取材の上、日の里50年の歴史の一場面を記録していただけると幸いです。
本件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先（所属、担当者名、TEL）
【主催】 日の里地区コミュニティ運営協議会、NPO法人まちづくり宗像 （担当者：NPO法人まちづくり宗像 理事長 中川 眞一 0940-26-1587）